

## 令和5年度 社会福祉法人 静和会・本部 運営方針及び事業計画

### 1、開園40周年記念と新規事業に向けて

あたたかいご支援をいただきながら早40年を迎えることになりました。この礎をもとになお一層サービスの質の向上と価値構造で社会福祉法人としての使命を追及します。地域社会ニーズに基づく新規事業への計画的な取り組みで着手を展開してまいります。

### 2、社会経済変動と福祉事業の役割

予想しない社会経済変動、既存の制度では対応できない福祉課題が顕在化している中で、社会福祉法人が期待される役割を果たせるようなステージづくりを考えます。雇用悪化、生活困窮者などの弱者の救済に向き合います。

ウィズコロナの流れから必要時、より必要な人へ、迅速に医療を提供できるよう医療提供体制を構築します。施設内療養を基本とし、嘱託医やかかりつけ医との連携強化を図ります。

### 3、介護人材の定着

働き方の多様化、働く人の多様化に合わせつつ、柔軟な対応をします。密なコミュニケーションで定着推進を図ります。新人職員の指導体制、内容の再構築を行い、社会人としてのモラルや介護職の魅力を感じ取られるよう工夫します。「サービスの質は職員の質」をモットーに専門性を目指します。職員ひとりひとりのモチベーション向上と資格取得やネット配信研修を中心に行います。変化、刺激を楽しむことができる体制づくりをします。

### 4、科学的介護の推進

質の高いケアを提供し、科学的根拠に基づき介護職の専門性を確立し社会的地位の向上に努めます。職員間の連携で効果的な機能低下防止に心がけ、「おむつゼロ、拘束ゼロ、褥瘡ゼロ、胃ろうゼロ」を目指します。加算対象でもあり日々研鑽しつつ可能な限り取り組んでまいります。

### 5、認知症ケアの充実

重度の方の支援を行います。偏見のない平等な生活を送るためにも、認知症の理解を深めます。委員会機能の強化を中心にケース会議等で認知症の人への愛情と病気に対する正しい知識を持ち、良好な関係づくりを行い

ます。受容ケアで安心感のあるケアを行うとともに、段階的にその人らしい個別的な関わりを重視し自己実現に向けて努力します。

## 6、看取りケア強化と4つの自立支援

人生の終盤を迎える高齢者にとって看取りの意義とは何かを再確認し家族とともに本人の自己実現を見つめ日々の暮らしを大切にします。慣れ親しんだ施設で、身体的苦痛や精神的苦痛を緩和・軽減するとともに、人生の最期まで尊厳ある生活を支援します。4つの自立支援として「認知症ケア、リハビリテーション、口腔ケア、看取りケア」を推進します。

## 7、社会貢献活動の推進

社会福祉法人としての責務を果たし地域の拠点として推進します。生活困難者、独居高齢者、認知症高齢者などを支援しつつ、地域社会と一体的に活動します。コロナ禍でも頼りになる、必要な存在になります。配食サービスの利用拡大を検討します。

## 8、安全衛生管理体制の充実

コロナ等の感染症や大地震等の災害を想定し業務継続計画(BCP)の定期的な会議や交通安全委員会、衛生委員会を中心に安全衛生管理体制を強化します。また、職員の健康管理については特にメンタルヘルス対策、生活習慣病対策、健康診断のあり方の検討や保健師の事業所訪問による健康相談を引き続き行い、疾病予防に取り組みます。

## 9、有償サービスの強化

介護保険外のサービスで制度に縛られず個人の自由な意向を反映し生活行動の拡大や質を向上します。介護保険サービスのきっかけづくりとして需要を見込んでいます。時代に即した支援を柔軟に行います。

令和5年度 指定介護老人福祉施設清流園  
事 業 計 画

1、意思決定支援の取組

日々の生活の中で「自分で決める」「自分で選ぶ」の機会を提供します。  
自己決定できる「多様な選択場面」を設定し、自主性、主体性を促します。  
常に人権を重んじたケアに努めます。

2、個別活動の推進（自己実現の取組）

入所した時より、看取りケアを念頭に置き、悔いのない日々を送っていただけるよう利用者様本人が望まれるケア、外出、家族様との面会などを実現できるよう努めます。おひとり、おひとりの生活歴を参考に価値観を大切にマンツー対応でのひとときを過ごして頂きます。核ともいえるコミュニケーション技術の向上を目指します。

3、感染対策への取組

施設内に病気を広げないよう、職員個々が自覚した行動、対応を行います。  
利用者様が健やかに過ごせるよう、健康管理を行います。

## 令和5年度 清流園地域密着型介護老人福祉施設 事業計画

### 1、利用者の生活の質の向上を目指して

開設10年を迎えて、ご本人の興味・関心があることに着目しながら、ケアプランに位置づけることによって、意欲や生活の充実感を損なうことなく、自立的な生活を送ることに繋げていきます。

### 2、BCPのマニュアル作成

新型コロナウイルス、自然災害のマニュアルを、令和5年度までに作成します。毎月、衛生委員会、BCP会議を行い、災害等があっても最低限のサービス提供を維持していきます。

### 3、科学的介護の取組

利用者の状況を一定の基準で記録し、その結果を踏まえて計画を見直すことによって、より良いケアを実施、分析、評価した結果が厚生労働省からフィードバックされる仕組みを構築していきます。

### 4、稼働率の維持

要介護4、5の受け入れ及び認知度Ⅲaに留意しながら、稼働率の維持と加算算定及び、家族の意向と利用者の望む方向、意向を尊重しターミナルケアを積極的に取り組み空床の減少に努めます。

## 令和5年度 清流園通所介護事業所 事 業 計 画

- 1、1日平均45名（月～金50名・土45名・日25名）の利用者獲得を推進

様々な活動を通して精神の活性化と身体機能を維持することにより、安心と安全の中で在宅生活を継続して頂ける様、利用者と家族をサポートいたします。

困難ケースや重度の方、ターミナルケア等、多種多様な利用者を幅広く積極的に受け入れ、職員個々の成長とともに事業所のさらなるサービス向上を目指してまいります。

利用者の方が安心・安全に気持ちよくご利用頂けるよう、事故防止や感染対策に最大限の努力をいたします。
- 2、利用者の希望・要望が反映し、主体的に自己実現できる時間と空間の提供  
《イベント・行事・外出にアクティブに推進》

コロナ禍において中止、延期、縮小に追い込まれていたプログラムを、復活ではなくこれまで以上の形で充実させ実践いたします。「屈・屈・伸」の言葉通り、ここ数年の様々な情勢や悪条件に耐えていたスタッフの想いを、「伸びる」かたちで叶えます。これが利用者の満足度へつながり、さらに職員のモチベーションアップへと好循環を生むよう最大限の努力をしてまいります。地域ボランティアの方を積極的に受け入れ、交流・行事等の充実に協力していただきます。

《究極の自己実現の場であり、自然に交流広がるカラオケルームの復活》

コロナ流行以前、大好評であったカラオケルームを復活します。好きな歌、懐かしの歌、思い出の歌など気兼ねなく歌うことが出来る、文字通り究極の自己実現空間です。またこのカラオケを通して地域の方との交流をはかり、施設やサービスについて広く知っていただく貴重な機会となります。
- 3、安定的人材確保・資質の開花と感染症対策

職員一人ひとりが、仕事にやりがいや魅力を感じ、快活に働くことが出来る職場環境づくりに力を入れます。またネット配信研修の活用、会議・ミーティングを定期的に開催することで資質の開花を促します。そして個々がもてる力を職員同士が認め合い、それぞれの個性を発揮できる働き方を追究し実現します。

新型コロナに限らず、あらゆる感染症に対策を常に行って参ります。設備すべてのBK水による消毒、空間すべての定期的換気、利用者と職員の体調の確認、手洗い・うがい・消毒等、これを通常のものとします。

## 令和5年度 訪問介護事業所 事 業 計 画

### 1、在宅生活の安定

日々の訪問で、話を聞き、利用者の希望、プライバシー、生活習慣を尊重して、変化するニーズに速やかに対応して、寝たきりにならない介護、自分で出来る事を増やす支援と共に目指し、ヘルパーが訪問する事で生活の質が低下しない様に見守り楽しく暮らせるように支援します。又、介護する家族の負担の軽減にも努めます。

### 2、質の向上

モニタリングを行い、検討事項があれば全員で情報の共有を行い共通認識のもと方向性を出します。毎月テーマを決めて研修を行い現場で活かします。サービス提供責任者を中心に利用者を見守りながら生活を維持します。

### 3、情報伝達および報告体制の強化

サービス提供責任者は、サービス提供の前後に必要な情報を的確に伝達して、適宜報告します。必要な事は、ケアマネ、他機関に連絡して連携調整をします。

### 4、有償サービスの充実

病院の付添、送迎、余暇、趣味等、多岐にわたりご希望に沿って対応します。必要に応じて介護保険へ繋げていきます。

### 5、実績の向上

訪問の依頼があれば、可能な限り受け入れをします。依頼に答える為に人員の確保をします。

### 6、安全、衛生

多種のウイルスに感染しないように決められたことを守り、感染防止に努めます。又、災害時の避難場所、避難方法等確認します。交通事故の無いように、安全第一で余裕をもって訪問します。

令和5年度目標件数（1ヶ月）

訪問介護	125件
総合事業	35件

## 令和5年度 指定障がい福祉サービス事業所 事業計画

### 1、居宅介護

個別の支援計画に基づき援助します。関係者で密に連絡を取り状況の把握に努め、精神的に安定した生活が送れるように支援します。

### 2、移動支援

安心して外出できるように安全第一に心がけ、社会参加を満喫して頂きます。外出ルートと介助法の事前確認を行ないます。

### 3、重度訪問介護

寝たきりの利用者の身体面、精神面を家族、訪問看護等と情報交換をします。利用者の気持ちを可能な限り尊重して、寄り添い、穏やかに暮らして貢います。

介護者の精神的負担の軽減をします。

### 4、資質の向上

ネット配信の研修を活用して、スキルアップに努めます。障がいの特性を学び、利用者の状態に沿った介護を行います。

### 5、安全、衛生

多種のウイルスに感染しないように決まり事を守り、感染防止に努めます。又、災害時の対応も考えていきます。余裕をもって事故の無いように努めます。

### 令和5年度目標件数

居宅介護	11名
重度訪問介護	1名
移動支援	5名

## 令和5年度 清流園短期入所生活介護事業 事 業 計 画

### 1、おもてなしの心を大切に柔軟な対応の実施

常にご利用者、ご家族の目線に立った対応を重視し、介護負担の軽減に最大限の協力をします。在宅生活での情報を十分に把握し環境面・精神面への配慮を行います。ドライブやタブレット使用等の支援で活気ある生活を推進します。傾聴、受容の時間を設け本人からの要望など伺い、ニーズに即したサービスを提供します。

### 2、利用者・家族との信頼関係

明るく笑顔での対応をモットーにご家族との情報交換を密にし、定期的なアンケートを実施し、円滑な日常生活が営まれ、生きがいが見いだせるきっかけづくりになるよう支援します。

### 3、稼働率90%

定期的に居宅事業所への宣伝や空き情報の提供を実施し、又新規利用の継続に向けて色々なアプローチを工夫し獲得に向けて努力します。

### 4、新型コロナウィルス感染予防

今年の春よりコロナウィルス対策が5類となり制限がかなり緩和されますが、職員のマスク着用、手指消毒、施設内の消毒等を行います。又、ご利用者には入所時に検温や同居家族の行動履歴等を聞き取り、施設内クラスターにならないよう注意します。

## 令和5年度 清流園在宅介護支援センター 事 業 計 画

### 1、自立支援及び生活の質の向上に資するマネジメント力の強化

利用者像を把握し、情報を整理、分析をして目指す生活の課題を導き出し、口腔ケアや食事、栄養面を含めた適切なアセスメントに資するよう努め、利用者の方がその可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉サービスが効果的に提供されますように努めます。新型コロナウィルス感染症やその他の感染症の拡大防止の強化を図ります。

### 2、要介護更新認定調査の受け入れ推進

市役所、又は市外から調査委託の依頼があった場合は、積極的に受け入れます。新規の要介護認定に係る申請につきましては、利用申込の方の意思を踏まえて速やかに申請が行えるように支援します。

### 3、事例検討会、研修会への積極的かつ継続的な参加

高齢者の自立支援、要介護状態の重度化防止や地域共生社会の実現、地域包括支援システムの推進を図っていくために事例検討会、研修会に積極的に参加し、支援方法の知識や改善方法を学び、多様なニーズに対応できるように研鑽を積みます。事業所内でコミュニケーションを大切にし、フォローアップ会議で情報を共有しながら、専門性の向上に努めます。

### 4、連携の強化

高齢者あんしん支援センターや市役所、医療機関等と連携を図り、支援困難事例につきまして事業所内で対応方法を検討します。

## 令和5年度 地域密着型短期入所生活介護事業所 事 業 計 画

### 1、個室の空間を生かす

「ほっと」とするひとりの時間と「集い」の場を楽しむひとときを大切にし、安心できる居場所を提供します。在宅生活の延長線での環境整備を行い、環境を変えることのリスクを軽減します。馴染みの物の持ち込みや生活歴を背景に本人、ご家族の目線に立った対応を重視し、介護負担の軽減に最大限の協力をします。

### 2、利用者のニーズに寄り添った個別的なケアと社会参加の推進

在宅生活での情報を十分に把握し環境面・精神面への配慮を行います。ドライブ等の支援で活気ある生活を推進します。傾聴、受容の時間を設け本人から要望など伺い、ニーズに即したサービスを提供します。

### 3、利用者・家族・関係機関との連携

明るく笑顔での対応をモットーにご家族・関係機関との情報交換を密にし、定期的なアンケートを実施し、円滑な日常生活が営まれ、生きがいが見いだせるきっかけづくりになるよう支援します。

### 4、新規事業、短期入所の稼働率

ユニット型10名の利用者の方の人権・衛生・安全に努め、稼働率の維持に最善を尽くします。

### 5、新型コロナウィルス感染予防

基本的な感染対策を行いつつウィズコロナの精神で、日常の生活が送れるよう、共存できるよう社会の動向を踏まえて工夫します。

令和5年度 プライム清流園通所介護事業所  
事 業 計 画

1、小規模の特性を生かした取組

吹き抜けの中庭を中心にこぢんまりと落ち着いた空間を提供します。自然との融合を生かし、解放感あふれる環境で、利用者個々のニーズに寄り添い細やかなケアを推進します。特に認知症で不安を抱く方々を中心に「自分の居場所」の確保に努めます。

2、認知症の方のコミュニケーション技術の向上

「認知症」の主症状を理解し、自分らしく生きるための「自己選択」と「自己決定」ができるよう促します。この支援がケアの基本と考え、人間関係の構築にコミュニケーションは大切です。アセスメントを行い、生活歴を参考に孤独感の軽減に努めます。おひとりおひとりに向き合い心の声を聴き、受容などコミュニケーションの基本姿勢から研修します。

3、利用者・家族・関係機関との連携

生活の基盤となる自宅内においての情報を日々家族・関係機関と共有しながら包括的に支援します。

4、新型コロナウィルス感染予防

基本的な感染対策を行いつつウィズコロナの精神で、日常の生活が送れるよう、共存できるよう社会の動向を踏まえて工夫します。